

図書館ホームページの魅力〈20〉

～「今、日本と世界は」 から新たな刺激を～



松尾 香奈子

「私は京都外国語大学の学生です」を仏訳してみてください。」1年次生の春、仏語文法の授業で問われた、先生からの質問です。

「答えは“Je suis étudiante à l'Université des Études Étrangères de Kyoto.”です。大学名の部分だけを英訳するとKyoto University of Foreign Studiesとなります。

“PAX MUNDI PER LINGUAS ～ 言語を通して世界の平和を～”は本学の建学精神ですが、さらに、国のあらゆる知識を得ることからも多文化理解ができるというメッセージが込められています。外国語大学では珍しいですよ。決して、Foreign Languageだけにとどまらないのだという点が私は好きです。広く自由に学べるこの環境を存分に生かしてほしいですね。」

当時まだ入学して間もない私にとって、印象深く、今日でも決して忘れることのできない先生からのお話です。

みなさんは授業を含め普段からすでに様々な国の学習をされていると思います。言語はもちろんのこと、文化、歴史、政治・・・今日は新

たに何を知りましたか？記憶に残っているそのキーワードで、今回は図書館ホームページの「今、日本と世界は」のデータベースを使い、さらに興味を掘り下げる楽しみをご紹介しますと思います。

このデータベースでは、政権交代や沖縄問題といった日本の話題から、食料問題や経済危機など世界の話題にも着目した項目がずらりと並んでいます。そこから検索をかければ、様々な文献がみなさんの興味に刺激をあたえるのを待っています。また100年前に出生あるいは死亡した人物や当時の出来事に関する蔵書紹介もあり、当時と今を、本を通して知ることができます。

もし気になるキーワードがあれば、「今、日本と世界は」から、今日はもう少し刺激を探しにいきませんか？図書館ホームページは新たな刺激探しの1つとしてみなさんを待っています。

まつお かなこ（フランス語学科3年次生）